

# とっとり 県議会だより

令和3年11月定例会

No.039  
11月  
議会

主な記事 Contents

代表質問	2p
一般質問	3~6p
令和2年度決算認定	7p
常任委員会活動	8p
議会改革の取組ほか	9p
議決結果	10~11p
関西広域連合議会	12p
お知らせ	12p



音楽部



華道部



技術研究部



書道部



弦楽部



吹奏楽部



太鼓部

コロナ禍でがんばる県内高校生（文化部）のみなさん

## 11月定例会の概要 (11月30日～12月21日)

開会日の11月30日に、平井知事から総額39億8千万円余の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）などが提案されました。

さらに、12月9日には、平井知事から総額344億1千万円余の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第9号）などが追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党、一般質問には23名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

### 議決の状況

#### 【知事提出議案】

- |       |        |        |                 |
|-------|--------|--------|-----------------|
| ◎予算議案 | ◀可決8件▶ | ◎その他議案 | ◀可決8件▶          |
| ◎条例議案 | ◀可決7件▶ | ◎決算認定  | ◀認定3件、可決及び認定1件▶ |
| ◎人事議案 | ◀同意1件▶ |        |                 |

#### 【請願・陳情】

- ◎陳情 ◀不採択5件▶

### 表紙の写真

#### コロナ禍でがんばる 高校文化部の写真

新聞部のある県内高校に写真をご提供いただきました。

（提供：鳥取商業高等学校、鳥取工業高等学校、倉吉西高等学校、倉吉農業高等学校、鳥取中央育英高等学校、米子東高等学校）



★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

# 代表質問

鳥取県議会自由民主党



## 県政運営の基本姿勢

**問** 新政権となり局面に合わせたギアチェンジを図っていく時だ。県民の納得と共感を得ながらどのような県政運営にあたるのか。

**答** コロナを克服することがこの16か月予算のテーマである。新型コロナウイルス対策費や地方創生臨時交付金2兆円を要望した。事業者対策や観光対策に取り組み、デジタル田園都市国家構想(※)を進める。人材育成にも取り組みたい。

## 新型コロナウイルス感染症への対策

**問** 県民の命を守るための医療提供の再構築は。

**答** 検査や医療提供の体制をしっかりと整えておくことに尽きる。鳥取方式の成功体験に基づき、対

応を徹底する。ベッドを8床増の345床確保できた。国のワクチン接種の在り方に臨機応変に対応する。

**問** 持続的に企業が事業継続するための取組は。

**答** 危機突破応援補助金を皮切りに経営の多角化や事業転換の助成制度などを随時打ち出した。非接触型やデジタル化に対応して、企業を支援し、今後も成長していきける土台づくりを図る。

**問** 本県は第5波の難局を一致団結して乗り越えた。今後も県職員のワーク・ライフ・バランス推進を図り、機動的で柔軟な組織運営に取り組みべきではないか。

**答** プロジェクトチーム方式で対策を展開してきた。経験者には即戦力で応援に入ってもらい、専門性を高めるための研修を行う。また専門職員の前倒し採用を考えている。小さい組織であるがゆえに大きな人口規模の自治体ではない総力戦で向かっていく体制づくりが重要だ。

## 鳥取版みどりの食料システム

**問** 昨年5月、農水省はみどりの食料システム戦略を策定。県として国の戦略にどのように対応されるのか。また、二十世紀梨や米についても農家の負担を軽減させる安定化策が必要ではないか。

**答** 1千億円達成プランを軸に、意欲的に生産振興を図っている。有機JASの加工品で、本県が全国で唯一その認定者になった。また、二十世紀梨は霜対策助成などの振興策を強化。米は、主食用米から飼料用米等へのシフトを図り、他の作物への転作支援策を考えている。国の詳細を見ながら臨機応変に対応し要望していく。

## 米子道の4車線化と延伸

**問** 4車線化と延伸については、一歩でも議論を進めていただきたい。今後の見通しや県の取組状況は。

**答** 米子〜境港延伸については、協議会がアンケート調査を実施し今後国に要望する。着実に進んできていると手応えを感じている。

## 高齢者の運転免許対策

**問** 車の運転が生活に欠かせない県民に、安心・安全が担保される社会とするには。

**答** (警察本部長) 県警察は、訪問活動による高齢者への交通安全指導や講習を実施。免許センターに医療系専門職員を相談員として配置し、認知症などの早期発見と自主返納の説明を行っている。令和4年5月から75歳以上で違反歴がある運転者は、免許更新時の運転技能検査、および安全運転サポーター車などに限定して申請する制度が設けられる。

## 子育て王国とっりの充実

**問** テレワークなど多様な働き方が現実化してきた今こそ、だれもが子育てと仕事を両立できる環境が必要ではないか。

**答** 昨年6月に育児・介護休業法が改正され、令和4年4月から新制度がスタートする。育児休業を取得した企業への助成金の制度がある。また、男性の看護休暇制度を企業でも設けるための促進措置を新年度予算で検討したい。

## 北朝鮮問題

**問** 拉致問題とミサイル発射について、強い姿勢で対応してほしい。

**答** 拉致問題は国連も認める人権侵害だ。政府は国際社会と協調して取り組むことが必要。またミサイルについては、全国知事会長として北朝鮮に抗議をした。

(※) デジタル田園都市国家構想…新政権が掲げる構想で、デジタル化を進めて地方と都市の格差を解消し地域活性化を目指すもの。

**常田 賢二** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**①富裕層旅②デジタル  
インフラ整備③食育**

**問** ①富裕層をターゲットにした観光戦略に注力しては②光ファイバー網の100%完備と5Gのエリア拡大を③栄養教諭による食育を平等に受けられる環境整備を。

**答** ①ハイエンドな旅は成立し得る。新年度に向けて強化したい②早晩99.5%の普及率になり、残るは倉吉市の小鴨以西。過疎債や県の補助等を入れて条件整備は一通りできる。不感地区の解消は政府の後押しも注目し、市町村と一緒に解消に努めたい③教育委員会と話をし市町村と調整を図っていききたい。

**福田 俊史** 議員 

選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

**森林、林業による本県の  
地方創生について**

**問** とっとり森林・林業振興ビジョンの素材生産量や造林面積の目標、2050年度カーボンニュートラルや2030年度の削減目標達成には皆伐再造林の拡大が重要だ。森林所有者への一層の動機づけと支援策が必要では？

**答** 全国で皆伐再造林に乗り出したはいいが、皆伐で止まっていることが課題だ。再造林に次の支援がなければ安定的に進まないと思っている。森林組合等に意見を聞きながら、対策を強化し、工夫をしながら皆伐再造林の流れを作っていきたい。

**会派正式名称**  
〔自由民主党〕  
鳥取県議会自由民主党  
〔会派民主〕  
会派民主  
〔公明党〕  
公明党鳥取県議会議員団

**答弁者説明**  
答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

11月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。※掲載に時間がかかる場合があります。

[鳥取県議会議事録](#) 🔍 検索

# 一般質問

**松田 正** 議員 

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**北朝鮮人権啓発週間  
作文コンクール(※2)**

**問** 過去4年間の本県の応募数を調査した。私立校からは一定数の応募があったが公立校からは皆無に等しい。教育長は、拉致問題解決を目指す国民の一人であるという自覚を持てるような学習をと言われるが、公立校の生徒にその想いが届いていないのでは。

**答** (教育長) 考え方・行動の変容につながる意味で、この作文は大きな意味を持つ。御指摘を踏まえ、ぜひ公立学校でも、こうした作文の持つ意味を理解し、そして考え方の変容につながるよう取り組んでまいりたい。

**語堂 正範** 議員 

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**サウナツーリズム推進  
乳製品需要減への支援**

**問** ①「ととのうとっとり」をどのように推進するのか。ネイチャーサウナからフィンランドとのつながりができたが、どのように活用するのか②乳製品の需要減に対し、県としての支援は。

**答** ①サウナスポットを結びつける事業をスタート。五塔熱子CEA(※1)と知恵を出し合い進める。フィンランドに傾注した経緯もあり、大使との交流等で協力関係を築きたい②バターが在庫200%でさらに積み上がっている。県職員で共同購入するなど、支援を考えたい。

**島谷 龍司** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**本県の水産振興に  
ついて**

**問** 資源管理と成長産業化という漁業法改正の趣旨に沿った水産業振興のための施策展開は。

**答** 資源管理の調査を基に漁協自ら水産資源の管理計画を作成することにより、国の支援を得て水産業振興につなげていきたい。

**問** 資源保護、漁業者維持の観点から遊漁者にも漁業者同様の規制が必要と考えるがどうか。

**答** 海区漁業調整委員会と相談し制限指示を模索していきたい。

**問** 藻場保護、沿岸漁業維持のため早急なムラサキウニ対策を。

**答** 新年度予算編成で協議する。

(※1) 五塔熱子CEA…琴浦町地域おこし協力隊でプロの熱波師。県の「とっとりサウナCEA(最高経営アウフグーサー)」に就任。  
(※2) 北朝鮮人権啓発週間作文コンクール…政府拉致問題対策本部主催。全国の中高校生が対象。今回が5回目の開催。

 **濱辺 義孝**  
議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**「医療的ケア児」支援体制の取組推進を！**

**問** 医療的ケア児は、医療の進歩で近年増加傾向にあり、家族への負担が重くのしかかっている。このような背景から、家族支援の法律が成立し、国や自治体に必要な措置を講じるよう義務づけられた。今後の取組について知事、教育長に問う。

**答** 相談機能が備わった支援センター開設に向け調整している。また、当初予算でも支援強化を図る。(教育長) 学校現場の医療的ケア児への支援充実を図る。また、看護師の確保など教育委員会として取り組んで行きたい。

 **中島 規夫**  
議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**今冬の大雪に対する県の雪害対策**

**問** 県は国・市町村と連携し十分に対策をとるべきだが、その状況は。山陰道鳥取IC～はわいIC・国道9号・鳥取鹿野倉吉線桂見～上光を同時に止め、除雪する計画だが、病人の救急搬送ほか、物流を止めるなど問題が多いが知事はどう考えるか。

**答** 国・市町村と協議中で、シミュレーション訓練を行っている。県は除雪機数を増やし、除雪開始時期も早めた。並行する山陰道・国道9号・県道を同時に止めることは絶対認められず、国交省ともう一度調整する。

 **澤 紀男**  
議員

選挙区 米子市  
会派 公明党

**鳥取県から宇宙ビジネスの創出を**

**問** 新設された県産業未来創造課では、地域の将来を支える産業の一つとして宇宙産業を創出するチャレンジをスタート。これまで日本の民間宇宙ビジネスの現場の姿を直接学べるオンライン講座や、とっとり宇宙産業ネットワークの設立、記念フォーラムの開催など機運の醸成に取り組んでいる。国が創設したS-NET(※1)への加入や宇宙ビジネス創出推進自治体の指定を目指すべきと考えるが知事に伺う。

**答** 宇宙ビジネス創出推進自治体への指定を目指していきたい。

 **川部 洋**  
議員

選挙区 倉吉市  
会派 自由民主党

**美術館を中核にしたアートツーリズム推進**

**問** 県はこれまでAIR(※3)等のアートプロジェクトを長年に渡り支援してきた、十分に下地が整っている。美術館のオープンに向け、コロナ後の観光振興の有力なコンテンツとして、アートツーリズムの推進に取り組むべきだと考えるがどうか。

**答** これからみんなで議論して、まちづくりやツーリズムにつなげるかを地域で考えることから始めるのかと思っている。提案のあったアートに関する体系的なコンセプトは県を元気にする道筋が入っていると思う。

 **興治 英夫**  
議員

選挙区 倉吉市  
会派 会派民主

**米価下落対策と農業・農村政策について**

**問** 過剰米を政府が買い上げ食糧援助に使うことや、水田の直接支払交付金は複数年契約加算廃止等の見直しを行わないよう政府に要望を。作付け転換拡大面積に対する連携型助成は満額を。飼料用米として多収品種コガネヒカリも推進を。生もみを濃厚飼料に使う稲SGS(※2)普及の検討を。

**答** 知事会で米の需要調整等を要望した。直接支払いは必要な要請をする。連携型助成は、1万円/10aを検討。コガネヒカリは、中山間地の推奨品種に考える。稲SGSは当初予算で措置を考えたい。

 **坂野経三郎**  
議員

選挙区 鳥取市  
会派 会派民主

**日本遺産・デジタル田園都市国家・ICT教育**

**問** 市町村を応援し、知名度向上や観光振興の観点で県内日本遺産の連携協働に取り組んでは。

**答** 日本遺産会議、日本遺産協議会という組織をどの部局がやるかを含め、新年度で検討する。

**問** 国は「転職なき移住」、私は「移住なき就職」を提言。鳥取在住のままで県外企業に就職するためデジタル人材育成が重要だ。

**答** デジタル関係に強い人材を育てていくことも必要になる。

**問** ICT活用した授業の課題は。

**答(教育長)** 第六波でも遠隔授業等学びを止めないようにする。

(※1) S-NET…スペース・ニューエコノミー創造ネットワークの略。内閣府と経済産業省が創設した宇宙ビジネスの創出を支援する活動。  
(※2) SGS…飼料米を乳酸発酵させたもの。ソフトグレインサイレージの略。  
(※3) AIR…ARTIST IN RESIDENCEの略。芸術家等が一定期間滞在し創作活動を行うこと。

 **浜田 妙子**  
議員

選挙区 米子市  
会派 会派民主

**①犯罪被害者支援条例  
②要支援者避難対応**

**問** ①犯罪被害者基本法にある被害者支援条例が11市町村で制定、又は制定予定となった。100%実現への加速化を望む②特に重症心身障がい児の自然災害時の避難課題は多く、取組を。

**答** ①そう遠くない時期に実現するのではと手応えを感じている。市町村と一緒に進めて参りたい②日吉津村との図上訓練は具体的訓練になった。新年度に実装で行うことで調整中。個別避難計画作成にも向え、横展開で共有できると考える。病院関係者主体の訓練は全国初かも。

 **銀杏 泰利**  
議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**砂丘をテーマパークに直轄道有料化4車線化**

**問** ①砂丘西側、多鯨ヶ池、東側整備で鳥取大砂丘を一大テーマパークに。テーマはジオと砂と自然、人の営み②多鯨ヶ池の山側からの景色は池と砂丘と海が重なる絶景。③周辺整備の検討を④市道は散策路として活用を⑤社会資本整備審議会で、直轄道路4車線化は有料化とセットで検討される懸念あり。対応は。

**答** ①まさに本県全体の観光振興になる。砂丘ゾーンのテーマパーク性を念頭に邁進する②③できるだけ早く整備図る④鳥取市と話し合う⑤慎重に対処する。

 **市谷 知子**  
議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**医療、風力・原発、学童保育、特別支援学校**

**問** ①医療職員にコロナ定期無料検査を②国保料統一議論。住民説明を③大規模風力発電計画は盛土条例規制対象か④原発避難計画の目的は⑤国府東小の学童保育専用スペース確保⑥県測定器使い米軍機騒音測定を⑦特別支援学校の教室不足改善計画を。

**答** ①自主検査で②説明尽くす③条例施行日以降の着工は対象④放射線影響を最小限に抑える。計画実効性に終わりではなく新知見入れ実効性に努める⑤鳥取市が対応⑥考えてない⑦(教育長)本年中に計画を作り解消に努める。

 **野坂 道明**  
議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**行財政改革の現状と課題について**

**問** ①鳥取市、倉吉市、米子市などの中核的な市と全面的に連携し県の総合事務所業務を移管するような大胆な体制見直しを構想すべき②大阪のように改革プランをまとめた上で行財政改革局が目標管理しながら総合的にマネジメントする体制を検討すべき。

**答** ①中核的な市と一緒にやるのは興味深い提案であり、業務の洗い出しを図っていく②行財政改革を次のステップに進め、市町村や民間との協働を意識した体制も可能であり、今日の提案を受け止め、組織改正を検討する。

 **山川 智帆**  
議員

選挙区 米子市  
会派 無所属

**最後の砦、安全協定改定の進捗の可否判断**

**問** 知事が「島根原発の安全協定改定は議会からの宿題だから、改定状況を報告して議会が良しとするか。その後可否判断を行う」と言われたが、知事も議員も選挙で選ばれ二元代表制でやっている。従って「議会が」ではなく、知事自身の考えはどうか伺う。

**答** 議会からの宿題を勝手にこれはいいのか悪いのか判断するのは独裁だと思う。そこまで言われるのであれば、議会で多数決を採っていただきたい。

 **由田 隆**  
議員

選挙区 倉吉市  
会派 無所属

**部落地名総鑑訴訟判決について所見を問う**

**問** 部落地名総鑑訴訟の判決が昨年9月27日東京地裁において下された。この判決に対する知事の所見は。部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会に新年度から鳥取県が正式加入。知事としての今後の同和行政に対する決意を伺う。

**答** この議場での議論に基づき“人権条例”を昨年4月に改正し、全国にまだ例のない「差別を受けない権利」の差別禁止条項を設けた。この条例改正を契機に私たち皆で共に生きていける社会を目指して参りたい。

**内田 隆嗣** 議員 

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**日吉津バイパス道路について**

**問** 日野川東岸道路の進捗について伺う。

**答** 現状の日吉津伯耆大山停車場線は、イオンから日吉津村役場など村の中心部を通り、安全対策上十分とは言えない。そのバイパスとして、日野川東岸道路は、町なかを避けて堤防道路のような形で造り直す計画。日吉津村は国道431号の北側に、村道をつけ効果を高めようとしており、県も新年度に用地に着手をさせていただいて事業の進捗を図っていききたい。

**森 雅幹** 議員 

選挙区 米子市  
会派 会派民主

**原発再稼働判断にUPZ外の自治体意見を**

**問** 県が最終的な判断をするときは、米子市や境港市以外の市町村長からも意見を聞く必要があるのではないか。

**答** 米子市・境港市以外の首長とも情報共有すべきではないかと思う。例えば市町村長との定例的な会議の場などでも、この原子力安全対策についても議論したほうがいいかなと思う。地元の意見を重視しながら進めていくが、そのほかの意見に耳を塞ぐことは決してない。意見を聞く機会というのはまた別途考えたい。

**山口 雅志** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**シベリア鉄道を活用した輸出ルート開拓**

**問** シベリアランドブリッジ(※1)を利用して、ヨーロッパへの販路拡大にチャレンジしてはどうか。

**答** 課題も多いが、ロシア側、環日本海地域にも大きな意味のあることであり、今後もしっかり夢を持ち続けてコロナ後の展開に備えていきたい。コロナで日本に行けない、日本の物を食べられないと思っている人の中に入り込んでいけば、販路拡大のチャンスになるかもしれない。日本の農産物を売り込むのは国策でもある。今後も関係者と思いを共有していきたい。

**浜崎 晋一** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**新型コロナを乗り越えた先の地方創生**

**問** ①東京オリパラのレガシーの展開は②全日空客室乗務員の県庁への兼業受入れは新たな関係人口の切り口。本県らしい地方創生に③医療的ケア児支援法施行を踏まえ実効性伴う体制を。

**答** ①コロナ後の国際交流戦略につなげる。(教育長)努力の大切さや健闘讃え合う精神性を心の教育につなげる②仕事と居住を分けて考える時代。関係人口の活躍の場に選ばれるよう取り組む③体制強化を図り、医療的ケア児支援拠点設置を目指す。(教育長)保護者との連携を図り体制を整える。

**福浜 隆宏** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**①コロナ②子ども目線で観光発信③動画配信**

**問** ①オミクロン株を必要以上に恐れぬよう欧米で蔓延した要因分析と発信を国へ要望を②若桜町『冒険マップ』のように子ども目線での観光発信を③中学や高校で社会人を招いての講話を動画で収録し、いつでも誰でも見られるサイト構築を。

**答** ①国としての分析は重要。そうした使命を担っていただけるとありがたい②非常に面白いプロジェクト。利用者目線で作る。どんな形が良いのか考えたい③(教育長)情報発信ツールとして期待できる。前向きに検討する。

**伊藤 保** 議員 

選挙区 東伯郡  
会派 会派民主

**フードロス問題はSDGsの目標の一つ**

**問** フードロス問題は、単なるごみ問題から、今や環境問題としてSDGsの目標の一つとして取り上げられており、フードドライブ(※2)等県としても取組を強化すべきでは。

**答** 食品ロスの削減法が制定された令和元年度以前から30・10運動(※3)など取組を展開している。県民の皆さんにわかりやすいフードドライブのあり方、宴会等で食べ残したご馳走を持ち帰る実証実験のトリピーフードバッグの賛同店を増やすなどの取組を進めたい。

(※1) シベリアランドブリッジ…シベリア鉄道と海上コンテナ輸送を組み合わせた東アジアと欧州・中近東を結ぶ国際輸送ルート。  
(※2) フードドライブ…家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体、施設などに寄付する活動。  
(※3) 30・10(さんまる・いちまる)運動…宴会等での食べ残しの削減を図る県の取組で、開始後30分間と終わりの10分間に食事をおいしく、残さず食べきる運動。

# 令和2年度決算を認定

決算審査特別委員会は、令和3年12月20日、「令和2年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について」を含む4議案を可決または認定すべきものと決定し、翌21日の本会議において可決または認定されました。

鳥取県議会では、適正な予算の執行と編成のため決算審査特別委員会を通年設置とし、「総務教育」「福祉生活」「農林水産商工」「地域づくり県土警察」「公営企業」の5分科会において詳細な審査を行い、新年度予算に審査結果を反映させるため、毎年11月定例会で決算認定を議決しています。



決算に係る4議案は、9月定例会から審査を開始。分科会ごとに書類審査を行い、集中審査、現地調査などを経て、最後は全体会において議論しました。

その結果、文書指摘4件、口頭指摘8件を行った上で、可決または認定が妥当と決定しました。

次の2月定例会では、指摘事項を予算等にどう反映したか知事ら執行部から説明を求め、決算と予算の審査を一体化することで、より適正な予算が実現するよう努めてまいります。



## 文書指摘の概要

### (1) 不登校児童生徒への自宅学習支援

いじめ・不登校総合対策センターでは、不登校児童生徒を対象に、eラーニングを活用した自宅学習支援を実施しているが、指導要録上の出席扱いについては、ガイドラインを基に各学校が総合的に判断しており、明確な判断基準がない状況である。

については、学校によって出席扱いの判断に差異が生じないように、市町村教育委員会と連携を図り、県教育委員会として基準を提示するなど、すべての子どもが公平に扱われるよう対策を図るべきである。

### (2) 障がい者就業定着支援強化事業

障害者雇用実態調査により、障がい者が離職を繰り返している実態が明らかとなったため、この調査結果を企業等と共有し、高いレベルで寄り添うサポート体制を充実すべきである。

このため、ジョブコーチ等による職場定着支援がより多くの者に行き届くようにするとともに、障害者職業生活相談員の配置義務のない障がい者雇用5人未満の事業所についても、障害者職業生活相談員の配置を促進し、相談員が果たすべき役割を検証し、活動内容や支援制度の改善を図るべきである。

### (3) 若者の県内就職支援

県外大学進学者のUターン就職の促進のため、学生が県内で活躍する各界の社会人とつながり、とっとり暮らしや仕事の魅力を知る活動について、学生側の希望がなく令和2年度実績がゼロであった。

については、学生と社会人とをつなぐ窓口的な役割を担う体制構築など、実効性を確保する仕組みを整えるとともに、学生と社会人のマッチングを図るなど、一層工夫して取り組むべきである。

### (4) 日野川工業用水道事業

日野川工業用水道では、施設の老朽化に伴い、近年、漏水事故が毎年度発生しており、事故発生の度に工業用水の供給を停止し、対症療法的な応急対策工事が実施されている。

今後、施設の老朽化の一層の進行が懸念されることから、管路の健全度調査など予防的な漏水対策事業をより積極的に推進することで漏水事故を予防し、より確実で、安心して利用できる日野川工業用水道事業を実現すべきである。

## 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

### 総務教育常任委員会



#### ◎11月定例会審査結果（議案）

「令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）」など5件の議案について慎重に審査を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

#### ◎出前県議会を開催（10月15日）

「不登校児童生徒への支援状況と課題について」をテーマに、フリースクールなどの教育現場や県教育委員会と取組や課題について活発な意見交換を行った。

#### ◎県内調査を実施（10月15日）

「SDGsの達成に向けた取組について」をテーマに八東ふるりの森で実施し、有識者から現状を伺い、活発な質疑を行った。

### 福祉生活病院常任委員会



#### ◎11月定例会審査結果（議案）

「令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）」など、本委員会所管の補正予算など10件の議案について慎重に審査を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

#### ◎11月定例会審査結果（陳情）

今回新たに提出された、保育所等の最低基準と保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情1件について慎重に審査を行った結果、「不採択」と決定した。

#### ◎委員会活動報告（11月24日）

委員長ほか2名の委員が、ハンセン病療養所入所者との県民交流事業に参加。長島愛生園等にて慰霊献花・焼香のほか、入所者による講演会・意見交換し、理解を深め意義深い交流を行った。

### 農林水産商工常任委員会



#### ◎11月定例会審査結果（議案）

- 燃油高騰対策や松くい虫被害の緊急対策などを盛り込んだ「令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）」
- 老朽化に伴う加地発電所制御装置を更新する「令和3年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第2号）」
- コロナ禍対応を含む国の大型経済対策の一次補正予算を財源とした「令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第9号）」

上記を含む5議案について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 地域づくり県土警察常任委員会



#### ◎11月定例会審査結果（議案）

コロナ禍対応を含む国の大型経済対策の一次補正予算を財源とした補正予算など8件の議案について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

#### ◎11月定例会審査結果（陳情）

新規に提出された4件のうち「比例代表を中心とする選挙制度の確立」を願意とする陳情は、現行の小選挙区・比例代表制の組合せ方式が適当とされているため、「不採択」と決定した。

#### ◎県内調査、岡山県議会との合同会議（11月）

昨夏の豪雨災害の現地など流域治水対策を調査。併せて、岡山県と本県を結ぶ道路整備促進のため、土木関係委員会の合同会議を開催した。

## 議会改革に取り組んでいます！

鳥取県議会では、平成19年度から議会改革推進会議（議長主宰）を設置しており、毎年度、地方分権時代にふさわしい鳥取県議会の在り方や当面の諸課題について調査検討し、議会改革の取組を着実に進めています。

### 【現在調査検討している主なもの】

#### ■ 県民の多様な意見の把握と常任委員会活動の活性化

- ・「出前県議会」や「学生議会・高校生議会」の課題を検証し、令和4年度以降の実施方法等の見直しを検討しています。

#### ■ 議会のICT化の推進

- ・試行導入中のタブレット端末とペーパーレス会議システムの本格導入に向け、「タブレット・ペーパーレス会議システム検討部会」を設けて課題を検証しています。

#### ■ 政務活動費のより一層の適正化

- ・「政務活動費の使途及び支出手続きに関する指針」の見直しを検討しています。

### 【これまで検討し、実施した主な取組】

#### ○ 県民との情報共有

- ・本会議のケーブルテレビ中継（生放送、録画放送）
- ・本会議、委員会のインターネット中継（ライブ配信・録画配信）
- ・会議録（本会議、委員会）、議案や請願・陳情に対する議員別賛否、政務活動費関係書類（収支報告書、領収書など）のホームページでの公開

#### ○ 県民参加の取組

- ・常任委員会による「出前県議会」
- ・県内学生を対象とした「学生議会・高校生議会」

#### ○ 議会の機能強化

- ・「大規模災害時における議会の災害対応マニュアル」の策定



## 財政基盤強化対策 県議会議長協議会の活動

「財政基盤強化対策県議会議長協議会」は、自主財源の少ない17県の県議会議長で構成する協議会です。昭和61年の設立以来35年の歴史を有する本協議会では、定期的に意見交換を行い、地方の財源確保、社会資本の整備促進、ひいては地域間格差の是正を図るための諸政策を提言しています。

本県議会の内田議長は、昨年6月から、本県選出としては4人目となる同協議会会長に就任しています。相次ぐ自然災害やコロナ禍で疲弊する地方への十分な財政措置を求める要望書を取りまとめ、地方の声を国へ届けるため、内閣府、復興庁をはじめとする関係省庁や政権与党に対し、政策提言・要望活動を行いました。



復興大臣への要望（令和3年11月18日）  
（左から2番目が内田議長）

## 境港管理組合議会で 県選出議員が活動

境港管理組合は、境港の開発発展、利用の促進及び管理運営の一元化を目的として設置されています。組合議会は、県議会で選挙互選された鳥取県4名、島根県3名の議員で構成されており、現在、浜田一哉議員が議長を務められています。



議長  
浜田 一哉（自民）境港市  
野坂 道明（自民）米子市  
森 雅幹（民主）米子市  
安田 由毅（自民）境港市

年2回（通常11月、3月）の定例会、臨時会、県外先進港視察等を行っています。



令和3年11月議会のような

自由民主党										会派民主						公明党			無所属			賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果							
安田	中島	福田	藤縄	斉木	浜崎	西川	浜田	内田	広谷	内田	野坂	島谷	坂野	西村	森	尾崎	浜田	興治	伊藤	福岡	濱辺					澤	銀杏	山川	福浜	由田	市谷	
由毅	規夫	俊史	喜和	正一	晋一	憲雄	一哉	博長	直樹	隆嗣	道明	龍司	経三郎	弥子	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	智帆	隆宏	隆	知子					
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決及び認定
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	決定
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択 (措置済)
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	25	9	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	23	11	34	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。  
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。  
 ※陳情に(措置済)と記載があるものは、国又は執行部等において措置済みのため  
 願意が概ね実現されており、議会として重ねて措置を講じる必要がないことを理  
 由とするもの。

請願・陳情の詳しい結果は  
 こちらからご覧いただけます⇒



議案等 番号	件名	議決結果
⑪	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
⑫	鳥取県警察手数料条例の一部を改正する条例	可決
⑭	財産を無償で譲渡すること(田園町下水道用地)について	可決
⑮	不当利得の返還に係る和解について	可決
⑯	不当利得の返還に係る和解について	可決
⑰	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県宮東山水泳場)について	可決
⑱	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立大山自然歴史館)について	可決
⑳	当せん金付証券の発売について	可決
㉒	鳥取県盛土等に係る斜面の安全確保に関する条例	可決
㉓	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意

# 令和3年11月定例会付議案等議決結果

## 賛否が分かれた議案

議案等番号	件名	自由民主党						
		語堂正範	常田賢二	川部洋	松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志
9月定例会第15号	令和2年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び令和2年度鳥取県営企業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会第16号	令和2年度鳥取県営病院事業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
⑳	令和2年度決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
	決算認定に係る指摘事項〔9月定例会第14号、第15号及び第16号並びに11月定例会第21号〕	○	○	○	○	○	○	○
㉑	令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○
㉒	令和3年度鳥取県営工業用水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○
㉓	工事請負契約（国道313号（倉吉関金道路）橋梁上部工事（石塚高架橋（A1～P5））（補助改良））の締結について	○	○	○	○	○	○	○
㉔	鳥取砂丘の観光振興、活性化及び保全における鳥取県と鳥取市との連携協約の締結に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○
㉕	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
㉖	令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情3年-26	選挙における略称の表記に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情3年-27	比例代表を中心とする選挙制度の確立を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情3年-28	「県民の声」のウェブサイトへの公開と開かれた行政の推進について	不採択 （措置済）	○	○	○	○	○	○
陳情3年-29	保育所等の最低基準と保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情3年-30	鳥根原発再稼働における市民参加型の原発行政を実行するための会議の開催について	不採択	○	○	○	○	○	○

**【凡例】** 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案  
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「欠」欠席。  
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

## 全会一致で議決された議案

議案等番号	件名	議決結果
9月定例会第14号	令和2年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について	認定
②	令和3年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算（第1号）	可決
③	令和3年度鳥取県天神川流域下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
④	令和3年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第2号）	可決
⑥	令和3年度鳥取県営埋立事業会計補正予算（第1号）	可決
⑦	令和3年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第3号）	可決
⑧	鳥取県新型コロナウイルス感染拡大防止のためのクラスター対策等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑨	鳥取県吏員等退職年金及退職一時金二関スル条例の一部を改正する条例	可決
⑩	鳥取県市街化区域と一体的な地域等に係る開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決

# 関西広域連合議会で県選出議員が活動

- 関西広域連合は、ドクターヘリの一体的な運航体制の構築や自然災害でのカウンターパート方式による迅速な被災地支援などに取り組み、広域行政の責任主体として着実な成果を達成しています。

令和2年11月には、地方分権推進の先頭に立ち、国家構造の転換をリードする特別地方公共団体として、次の10年間に目指すべき関西の姿を示した「関西新時代宣言」を宣言し、我が国の成長を牽引する関西を確立し東京一極集中を是正する「デジタル化の推進と国土の双眼構造の実現」などを旨とするとしています。

- 関西広域連合議会には本県議会から、坂野議員（会派民主）、島谷議員（鳥取県議会自由民主党）が選出され、「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っています。



構成府県・政令市

## 今年度の質問事項

### 坂野 経三郎 議員

- 岸田政権が掲げる「デジタル田園都市国家構想」と東京一極集中の是正について



### 島谷 龍司 議員

- 将来における関西圏の水素サプライチェーン構想の実現について



## 県議会からのお知らせ

### 2月定例会の日程案

期日	日程
2月22日(火)	本会議(開会・提案理由説明)
24日(木)	常任委員会
25日(金)	
3月1日(火)	本会議(代表質問)
3日(木)	
7日(月)	本会議(先議議案に対する質疑)、常任委員会
8日(火)	本会議(先議議案採決、一般質問・質疑)
9日(水)	本会議(一般質問・質疑)
11日(金)	
14日(月)	
16日(水)	
17日(木)	
22日(火)	常任委員会
23日(水)	特別委員会
24日(木)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。

※ 午前10時開始の予定です。

### パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などのインターネット放送(ライブ配信、録画配信)は、パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

県議会インターネット放送局

鳥取県議会ホームページは  
こちらから→



### あ と が き

新型コロナ感染も収束を見せたかと思うや否や、新株に悩まされる昨今。コロナを“恐れる”から、“どう付き合っていくか”意識を180度変えていくステージに突入しました。気持ちを切り替えることにより、光明が見えてくるのではと思う今日この頃です。

(広報委員 Y)